

【様式3】事業評価個票

事業名	グローバル化推進事業費		開始/終了(予定)年度	令和4 / 令和6		活動指標及び活動実績(アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和6年度(最終目標)	
部局・担当課名	みらい企画創造部 国際人材活躍・コンベンション誘致推進課						①サミット参加者数	活動実績	人	138	205				
総合発展計画実施計画の位置付け	政策の柱、政策	【政策の柱1】 次代を担い支える人材の育成・確保 【政策4】 国内外の様々な人材の呼び込み						当初見込み	人	120	240	360			360
	施策	【施策4】 外国人材の受入れ拡大					②	活動実績							
事業の目的	目標指標	外国人留学生の県内受入数		令和6年度の目標値 455人				当初見込み							
	留学生や高度外国人材を本県に呼び込むとともに、やまがたを誇りに思い活躍する人材の育成につながるため、国内外の若者、経営者等が、本県の豊かな地域資源に触れながら議論・交流を深め、国際交流の機会を創出し発信することで山形県の存在感を高め、新たな関係人口の創出や、国内外との交流促進による若者にとって魅力的な山形県の実現を図る。						③	活動実績							
事業概要(令和5年度の実施内容)	① YAMAGATA Youth Summit 開催事業 【概要】 県内5か所で「YAMAGATA Youth Summit」を開催し、国内外の経営者等と県内の若者のパネリストが、グローバルな共通課題や地域資源活用について話し合い、その模様をYouTube配信した。会場参加者は延べ205人、YouTube配信の視聴者数は延べ3,232人。							当初見込み							
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他 ( ) 上記実施方法とする理由: ①民間事業者のノウハウを生かし効果的に取組みを進めるため。					④	活動実績							
					当初見込み										
当初予算額(単位:千円)	予算見積書グループ名	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度		令和6年度	成果指標(所管部局の分析)		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和6年度(最終目標)
	① YAMAGATA Youth Summit 開催事業	-	-	19,138	19,138	19,101	①外国人留学生の県内受入数	成果実績	人	270	320				
	②					目標値		人	377	414	455		455		
	③					達成度		%	72%	77%	0%		0%		
	④						②	成果実績							
	計	-	-	19,138	19,138	19,101		目標値							
	財源内訳(単位:千円)	国庫支出金			9,488	9,488	9,488	③	達成度	%					
		県債							成果実績						
		その他特定財源						目標値							
		一般財源			9,650	9,650	9,613	達成度	%						
計	-	-	19,138	19,138	19,101	活動指標及び成果指標設定の考え方									
YAMAGATA Youth Summit 開催事業の活動指標はサミット参加者数(会場参加者数。オンライン参加者・視聴者数を除く)を設定した。また、サミット開催による、海外の若者に対する県の認知度向上は留学生数に寄与するため、外国人留学生の県内受入数を設定した。															

事業所管部局による評価・検証(令和6年6月)

項目	評価(ABC)	評価に関する説明	課題
事業の必要性	B	事業の目的が県民や社会のニーズを的確に反映し、成果指標の明確な達成手段として位置づけられ、優先度の高い事業となっているか。また、市町村・民間等に委ねることができない事業なのか。	参加者数は概ね見込みどおり、オンライン視聴者数も令和4年度1,888人から令和5年度3,232人と増加しているが、高校生や大学生の参加割合が2割程度と低いことが課題である。また、国の交付金を活用しているものの、県の財政支出は少なくないことから、費用対効果を再度検討する必要がある。
事業の効率性	B	支出先の選定や受益者との負担関係は妥当であるか。	
事業の有効性	B	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。また、類似事業がある場合、他部局等と適切な役割分担を行っているか。	今後の対応
事業の達成度	B	活動実績は見込みに見合ったものであるか。また、整備された施設や成果物などは十分に活用されているか。	
事業の有効性	C	活動実績は成果指標に見合ったものとなっているか。	令和6年度は、パネリストに高校生や大学生の知名度が高いタレントを迎え、参加の動機付けを図るとともに、地域セッションには高校生をパネリストに迎えるほか、実施会場を高校にするなどにより若者の参画を促す。今後の事業展開に関しては、3年間の実施結果の評価検証をもとに費用対効果なども含め、事業のあり方や実施方法について検討をしていく。

(評価基準)「事業の必要性・事業の効率性 A:妥当性が高い/B:おおむね妥当である/C:妥当性が低い」

「事業の有効性(達成度) A:目標を上回る成果、活動見込を上回って達成(100%以上)/B:おおむね目標どおりの成果、活動見込をおおむね達成(80%以上100%未満)/C:目標を下回る成果、活動見込を下回った(80%未満)」

## グローバル化推進事業費に係るYAMAGATA Youth Summit 開催事業の主な実績(R5)について

I YAMAGATA Youth Summit 開催事業		
①	YAMAGATA Youth Summit 開催事業	<p>○オープニングイベント開催 (R5. 11. 10 (金)、文翔館議場ホール、英語による開催)            テーマ「価値を共有し、共にセカイを変えていく」            会場参加者数 83人            オンライン視聴者数 (R5. 12. 20時点) 991人</p> <p>○地域セッション開催 (日本語による開催)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・金山町 (R5. 11. 17 (金))、会場参加者数39人、視聴者数986人</li> <li>・長井市 (R5. 11. 22 (水))、会場参加者15人、視聴者数450人</li> <li>・朝日町 (R5. 12. 3 (日))、会場参加者数18人、視聴者数530人</li> <li>・鶴岡市 (R5. 12. 9 (土))、会場参加者数50人、視聴者数275人</li> </ul> <p>◎総計            会場参加者数 205人、オンライン視聴者数3,232人</p>